

# 前橋の、今ここに ある危機!

平成27年9月の「関東・東北豪雨」や平成28年4月に震度7が2回続いた「熊本地震」など、大規模な自然災害が近頃、日本各地で発生しています。

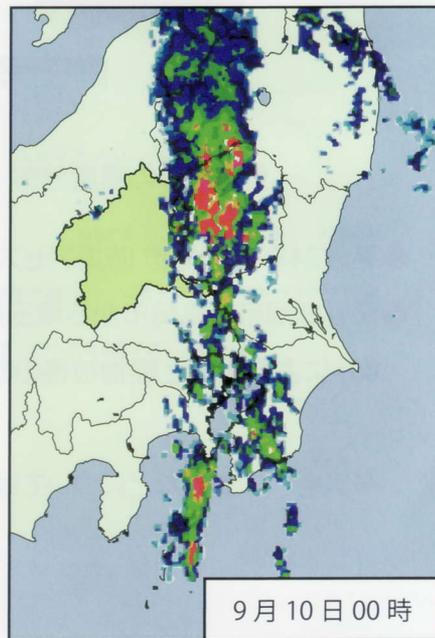
こうした災害は前橋市でも、いつか、「必ず起こる」と思われます。自然災害を正しくおそれ、「自分の命は自分で守る」、「地域の安全は地域で守る」ため、日頃の備えをすすめましょう。

## 平成27年9月関東・東北豪雨

栃木県を中心に「線状降水帯」が次々に発生・発達して大雨となり、茨城県常総市では鬼怒川の堤防決壊もあり広範囲で大規模な水害が発生しました。大雨をもたらした「線状降水帯」(下図、右)の位置は、気圧配置の影響でほぼ同じ位置にとどまりました。仮にこの「線状降水帯」が数10km西方で発生したら、前橋市が大きな水害にみまわれたと思われま



↑ 鬼怒川が決壊した常総市



9月10日00時

↑ 雨雲の分布 (レーダー画像)

提供: 国土交通省関東地方整備局

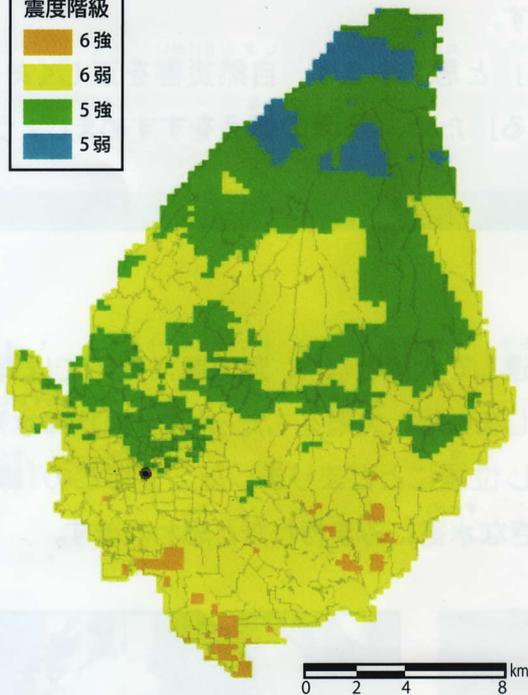
出典: 気象庁

# 群馬県の活断層地震

前橋市が今後30年以内に震度6弱以上の地震におそわれる確率は7.2%です(2018年「全国地震動予測地図」)。一方、震度6弱と6強の地震が立て続けに起こった熊本市の地震発生確率(2016年)は7.6%でした。

深谷断層帯による地震では、前橋市の震度は5弱～6強と想定されています。この地震により市内の建物の約7.5%が全壊・半壊し、死傷者は約1,900名とみられます。

地震発生確率が数パーセントでも、地震はいずれ起こる、必ず発生すると考えて、地震対策をすすめましょう。



地区名	建物棟数	全壊棟数	半壊棟数	全半壊棟数	率(%)
本庁管内	32,856	287	2,314	2,601	7.9
上川淵	10,495	225	1,261	1,486	14.2
下川淵	4,741	169	656	825	17.4
芳賀	5,354	13	196	210	3.9
桂萱	14,383	78	761	839	5.8
東	13,024	230	1,292	1,523	11.7
元総社	8,973	82	655	737	8.2
総社	6,226	29	294	323	5.2
南橋	16,551	40	482	522	3.2
清里	1,819	9	111	120	6.6
永明	10,925	119	773	892	8.2
城南	11,478	213	1,202	1,415	12.3
大胡	10,440	30	417	447	4.3
宮城	8,973	13	228	242	2.7
粕川	9,353	52	551	603	6.5
富士見	12,490	43	467	511	4.1
合計or(%)	178,081	1,635	11,661	13,295	7.5

↑ 前橋市の震度分布

↑ 建物の被害想定

- 平成24年度前橋市 防災アセスメント調査結果
- 深谷断層帯 (高崎市から埼玉県鴻巣市にいたる約69kmの断層帯) の地震 (マグニチュード8.1) による震度と建物被害の想定

※災害への対応などについては、ご家庭にある「前橋市総合防災マップ」でご確認ください。